【刊休曜月・刊日】昭和25年(1950)11月14日(火曜日)・第148号　磐城毎日新聞社　昭和25年7月6日第三種郵便物認可　(一)

衛兵奥田町南町
社長　大和田孝倫
発行所　福島縣平市每日新聞社
株式會社　磐城印刷所
編集兼発行人　遠藤倫一
電話(平)二一二番

木炭部新設
配達迅速
水野氷室
平市大町　電話二九九番

山の暴力團に手入れ

今朝警官隊出動九名檢擧

平地區署では十三日午前五時半縣刑事課木村警部補、すれも行商人、料理屋等で平地區署渡部司法主任ら武裝警官廿名が出動、好間方面の部小田炭鑛を中心に根城を持ち料理店、行商人等に對し傷害、暴力行爲を行つて更に今年五月に同村無職夏井武雄に一週間の傷害を與えた外、十數件に達している、尚地區署では今度も此の種の暴力團に對しては徹底的な取締りを行うと言明している「後のたゝり」をおそれ被害をかくしている事等なく、被害者は早急申出を望んでいる

波多野清美(二七)の九名で時半縣刑事課木村警部補、平地區署渡部司法主任ら武傷害、暴力行爲、脅喝等働いた疑いによるもの、特に井田は二十三年の暴力團狩りにも一度檢擧されており更に今年五月に同村無職夏井武雄に一週間の傷害を與えた外、十數件に達している、尚地區署では今度も此の種の暴力團に對しては徹底的な取締りを行うと言明している「後のたゝり」をおそれ被害をかくしている事等なく、被害者は早急申出を望んでいる

二名檢擧

鑛毒被害調査

縣耕地課佐久間主事は十二日から郡下の炭鑛並に工場帶の鑛毒を含む灌がい用水で農作物が相當減收をきたしている內郷、小名濱、磐崎、川部の各地を巡視し鑛

愛の運動實施

平市民生委員助成會では十五日午後一時から市公會堂日本間で役員會を開き共同募金の經過報告並に愛の運動實施方法について協議する

磐崎村に賊

十一日夜磐崎村大字藤原農櫛田實(五五)さん方に賊侵入自宅八疊の間タンス中から紋付羽織など衣類十九點、三万圓相當を盜んで逃走し

犯罪防止の強調に

各地で少年辨論會開く

十一月二十九日まで市役所教育課

青少年の不良化と犯罪を防止第三回青少年保護育成運動の一環として郡下では平三、陳列場所

市役所階上の豫定

四、注意事項

1、陳列中は主催者において責任を以て管理する

2、搬入、搬出は出品者において管理のこと

家庭え豫防と普及

寄生虫驅除週間實施

來る十五日より廿二日迄は着上り列車の主食取締りを寄生虫病豫防週間に當つて行つた結果、無主物米、小豆等廿二件、九〇キロを押收した、なお當習惡質者五名は送檢

農協組員アドルム自殺

泉村大字玉露字前原農阿部紗二男同村生活協同組事務員阿部正夫(三)は十一日植田町宮城屋旅館に投宿したが十二日午後三時ころアドルム四十錠を呑み昏睡狀態になつている所を發見、同町前田病院に收容、應急手當をしたが十三日に至つても依然昏睡狀態にあり生命危篤、遺書其の他はなく同人所有のカバン中には殘りのアドルム二十錠があり覺悟の自殺と見られる

炬燵から出火

十二日午前九時ころ內郷町字宮農佐川勇一郎(四三)さん方から出火、同家天井一坪を燒いた、原因はコタツの火から損害は七千圓

白米泥送檢

相馬郡直野村生れ住所不定無職小幡充(三)小名濱町大原魚夫川下弘(三)の兩名は共謀して去る十月以來今月十日までに小名濱町中町字境古物商金古清次さん外十五件から米一俵半、衣類十五点、現金六百圓等計一万五千圓相當を盜んだことが判り十三日送檢された

新人野球 平商優勝

平地區高校(磐高、平商、平工、內高)新人野球リーグ戰平商對內高の決勝戰は双方二勝一敗の後をうけて十二日午後一時から磐高球場で試合を行つた、平商は內高を3A—1で降し優勝した

チフテリア湯本に二名發生

湯本町字下淺貝九〇油井好廣(三)ちやん及び同小瀨忠夫ちやんは去る十一日チフテリアと判明

自轉車泥送檢

磐崎村小野田炭鑛社宅土工船山昇(二六)と內郷町堀坂魚商菊池八郎(三)の兩名は共謀で十日午後九時ころ植田町本間和夫所有中古品自轉車一台外持主不明新品自轉車一台を盜んだ疑で植田町署で取り調べを受けていたが十三日身柄とともに送檢

鮮魚行商 一千人登錄

容器檢査等嚴重に行う

平保健所の鮮魚並に同加工署に逮捕、十三日送檢された去月廿三日より行われ去る十日午後五時三十分頃市內舊城跡本田一日終了した、同檢査で合格した行商人は郡下で約千名に達している、今後は行商人で登錄證明書及び檢査番号のついた容器を使用しない者は全部沒收される、同所では一般消費者に對して今後行商人から鮮魚類を購入する時は登錄番号に注意する樣望んでいる

搔拂送檢

住所不定今野正美(一九)は窃盜並びに無錢飮食の容疑で去る十日市同で十三日午前八時五分平

【鮮魚】

十三日現在
卸値(單位貫)

さんま	八〇円	
むし	三五〇—三〇〇円	
やなぎ	五五〇—五〇〇円	
いしもち	二二〇—二〇〇円	
するめいか	八〇—七五円	
さつまあげ	二五〇—二三〇円	

市況—いかの入荷多く他は少い約二千貫活潑

【青果市況】

丸サ市場

大根	二〇—一〇円
白菜	三五—二五円
同(山形丸ソ印六貫五百匁入)	二〇〇—一八〇円
みかん(半石)	五〇〇—三五〇円
りんご	一五〇—一〇〇円
玉ねぎ	六〇円
たるぬき	六〇円

會津みしらず(箱五貫五百匁入) 七〇〇—五〇〇円

市況—入荷多く活潑

【株式市況】

11日前場

帝繊分割三社の東邦レ		磐城證券	
帝麻、中央センイ等が軒並急騰した外旭硝子が高い、今の處は部分高であるが結局一相場あるだらうと思う、他の株も小確りであつた			
鋼管	六一	呉羽化	—
東洋紡	三〇九	苫小牧	三〇八
鐘紡	一三六	十條紙	一三五
日清紡	三〇六	本州紙	一三六
呉羽紡	一三八	日セメ	七六
日東紡	一一八	磐城セ	一六〇
片倉	七〇	小野田	一三〇
帝人	一七五	不動新	三三八
東洋レ	一七五	陽和不	一六〇
新光レ	四〇六	開東不	二〇五
山バル	二〇八	三越	—
東海上	三三〇	日麥酒	一九九
新郵船	一七四	朝麥酒	二〇〇
三井船	一三三	キリン	二〇三
日發	二四	寶酒造	一三三
三井山	四五	野田醬	一六九
日石	七一	豊年油	一一五
三井造	一一〇	高壓	四八
日立	二四	日產化	五五
東北パ	二九	日活	一三〇

商狀、經濟欄

投票

いつの選擧にも不眞面目な投票がつきものであるが十日行われた縣教育委員選擧の平市における無効投票二七四票は次の如く分類されている

△候補者でない者の氏名を記載したもの一〇二票
△二人以上の候補者の氏名を記載したもの二票
△候補者の氏名の外他事を記載したもの一一票
△單に記号、符号を記載したもの四二票
△白紙七七票
△雜事を記載したもの四〇票

右の通りであるが、雜事を記載した四〇票中は「氏安古阿日綠」と候補者六名の氏名の頭字を記載した總花式の投票もあり、或は狂歌のごときものを記載したものもあつたが、雜事を記載したのは何れも達筆であるのが意外とされている

へちまの皮

「選擧後感」(九)

天邪鬼生

教育委員選擧は初から低調に人物を傳えられて果して相當數るだろう、教育委員の報酬の棄權を出した、棄權率の多かつた原因は本縣では月三千圓位、ほんの謝禮程度に過ぎないのそのものえの選擧民の理解だ、そうだもつとも縣によつては全くの無報酬、本當の名譽職なのだそうであるが、一番の原因は候補者の人物が少なかつた事によるだろう、教育委員の報酬とも選擧前日天野文相の發言から選擧民の關心が出ないわけである、もつと學校生徒、留守宅家族の慰問を行う、なお琴演奏の合間には磐女高生の合唱がある

留守家族の慰問に琴演奏會

平市南町わしの喜美野社琴演奏會は來る廿三日午後一時から市公會堂日本間で開く、郡山市長野武先生が特別出演し廿名の參加で雙唄關係ある藝術品を陳列し一般の觀覽に供し鄉土文化の向上に資する事となり事務局では多數の出品を希望しているが出品要領は次の通り

十二月一日より三日間に亘りで平市において開催され一、磐城産業文化祭に鄉土に關係ある藝術品を陳列し一般の觀覽に供し鄉土文化の向上に資する事となり事務局では多數の出品を希望しているが出品要領は次の通り

鄉土藝術品も陳列

産業祭に多數出品希望

十二月一日より三日間に亘りである

一、出品々目
鄉土藝術品(鄉土出身の藝術家になる作品及び鄉土に因んだ作品)書畫、彫刻、人形、置物、土産品等

二、出品期日屆先

これでは良い人物は出るわけはない、金があつてひまがあつて、欲しいものは名譽慾だけという連中か、或は大きな組織か金力をバックにしたロボット候補者しか出ないわけである、もつとも選擧前日天野文相の發言から選擧民の關心が

昭和25年(1950) 11月14日 (火曜日) 第148号 磐城毎日新聞社
(二) 可認物郵便種第三種 円二 賣部一 円50月ヶ1價定

四ツ倉港 とれるサンマは續く

値段取戻して船主朗らか 加工屋さんは出荷準備

本年のサンマ漁は全國的な盛漁で各濱とも水揚げに多忙をきわめて居り、各市場も戰後初めての貫百圓と云う安價のサンマが送り込まれている、安價とあつても大漁の海は活氣を取りもどして賑かだ、茲二、三日でまた月明がやつて來ると云うので時化模様の荒波をけつて各船とも出航以外の戰果をあげている、四ツ倉港濱の秋はまさにサンマの山で景氣がよい、向うはち巻きの若者が氷碎きに余念ないし、樽詰めの生はトラックで岸壁からふつ飛んでゆく、老いも若きも動員され働く人でうごめいている、製材工場も動き出して樽造りと箱の組立てに忙がしい音を立てゝいる、滿倉された鹽造ものも荷造りは開始されて出荷の準備中だ、街場は富岡小學校、午後一時から豫選、午後六時から決選でもうし込み締切りは來る廿五日となつている

來る十二月一日は富岡町政施行五十週年にあたるので町當局は當日の記念行事を種々準備中であるが、その行事の一ツとしてNHKの全國放送によるのど自慢大會を開くことになつた、會場は富岡小學校、午後一時から豫選、午後六時から決選でもうし込み締切りは來る廿五日となつている

のど自慢全國放送

富岡町政五十年記念に

斷行する

平市は再三に亘り紹介作業規律の確立と不正勞務者の排除による現場、紹介所の明朗化、及び一般民間求人の開拓による失業狀態の緩和を期して來たが、絶えない不正を根絶する爲今後の強行方針を強調した二つの告示を十一日に行つた

△不正勞務者排除について數多い勞務者の中に秘む二、三の不正勞務者のために乱れがちな紹介や現場規律の確立のため今後は「不正勞務者排除法」に基き斷呼不正の排除を行う

△紹介拒否について失業の増加に對處して職安では隨で其請負者との間に期日一般民間事業えの特別求迄の竣工がどうなるのだら人開拓班を組織し、そのうと心配を初めるものがあるし緩和を期し去月一ケ月間噂するものゝ話に依ると大だけでも三千五百名にの都市の請負者は工事中にしぼる求人の開拓行に努力して事業を放棄するものが多をつして來たが、勞務者の中には正當な理由なしに民の請負も此點が氣づかわれればそれこそ杞憂と稱すべ

怠け者締め出し

不正勞務者排除を强化

間事業えの當所の紹介を神經痛、リウマチだからとか賃金が五日拂制でないからと拒否積極的協力性がないので當所としては理由なく拒否する勞務者に對しては失業對策事業えの就勞も望まないものと見られるので紹介を拒否するなどの手段をとる外更に一般からの非難もあるので不眞面目者に對しては賃金の値下げも

防疫講習會の講師決る

平保健所では來る廿日石城地方事務所で各町村の防疫講習會を開く、講師は△冬期環境衞生對策=右近縣公衆衞生課長△環境衞生の訓練=羽賀縣技師△ネズミ驅除法=賀茂縣技師△營業法について=鈴木縣主事△發疹チブス防疫對策=縣豫防課防疫係員

弓道大會

平石炭事務所主催の各炭礦弓道大會は來る廿六日午前八時半より平市聚樂館隣り弓道場で行う

光勝丸の捜査打切る

全乘組員、絶望と斷定

去る一日岩手縣宮古沖で消息を絶つた小名濱町吉田由吉氏所有第一光勝丸(四五トン、乘組員二十三名)の遭難について鹽釜海上保安本部、小名濱、釜石兩保安部の全巡視船ならびに地元漁船第三壽和丸(百六十トン)ほか十一隻が出動、十一日間にわたり捜査にあたつていたが鹽釜海上保安本部では十一日午前七時半泉驛發下り列車内で現金(三三)さんは十一日午前七時三千二百圓在中の財布をスラれた

保健婦スラる

泉村大字泉保健婦佐藤りつ

佐久間檢事取調べ一段落

去る二日から平市第一小學校建築に絡む不正事件の調査に各關係者を取調べ中の佐久間、宮川檢事は十二日退市した

舊城跡に榮冠

少年野球終る

平市少年野球區内對抗試合は十一日午前九時から卅三チームが參加磐高、平商、市營兩球場で父兄の應援と大人顏負けのプレーを行い盛況を極めた、△準決勝 才槌小路2—4南町 舊城跡3—2立町

の成績で南町、舊城跡が決勝に殘り午後二時半からいよいよ榮冠の爭奪戰に入り舊城跡は南町チーム投手の延び切らない球を攻略して内野手の不手際等で三点の決勝点を奪つたに反し南町の打戰は舊城跡投手のスピードボールと觀覽大衆も舌をまくドロップの好投に牛耳られてカラッキリ元氣なく枕を並べてバタバタなぎ倒され全然切り抜ける得點期も見出せずシャットアウトで屈服した 舊城跡3A—0南町

選手權平FT 平商高獲得

十二日午前九時から平商コートに於いて平石城地區排球選手權大會を開き男子では平FT、女子では平商高が優勝、晴れの選手權を獲得した

男子の部 △準決勝 平FT2—0磐高 平商2—1日本水素 △決勝 平FT2—0平商

女子の部 △準決勝 磐女A2—0磐農 平商2—0磐女B △決勝 平商2—0磐女A

ラクビーリーグ戰

濱通り地區高校ラグビーリーグ戰は十一日午前十時から平工グランドで開幕した結果、双葉15—6小名濱、小名水産6—5双葉、なお十二日は小名高グランドで小名濱6—0湯本、小名濱水産3—0內郷

炭車に刎られ死亡

常磐炭鑛湯本鑛第五坑本線の坑口百二十米の地点で十一日午前八時ころ作業中の運搬夫櫛田新一(一九)さんは疾走して來た炭車にはね飛ばされて左足、頭部に重傷を負い手當をしたが同十一時半死亡した

飲食店勝つ

平保健所では十二日午後二時から第二小校庭で市內飲食店組合と親善野球試合を行い野球なれしない珍プレの續出は保健所2—16飲食店チームの勝利に

トラック大暴れ

一名重傷倉庫を破壊

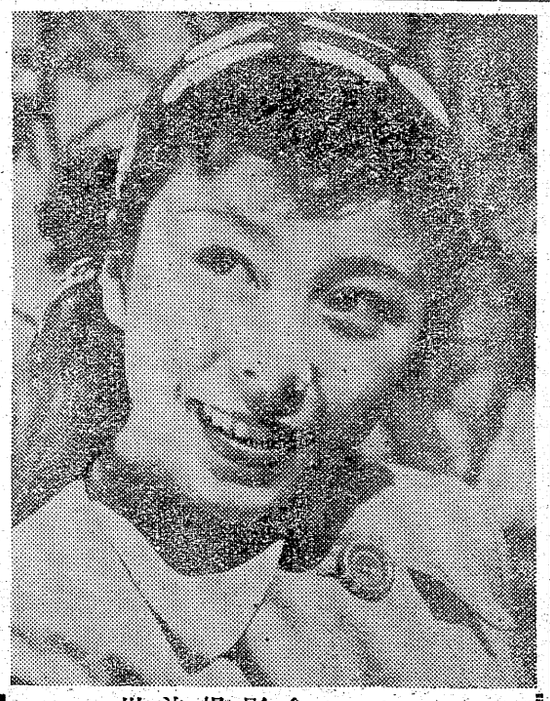
十一日午後三時ころ石城郡江名町中ノ作字川岸漁業吉田喜久藏方トラック=運轉九本をはねとばした上柱一手新妻淳(三五)=は同字役場本を折つた、この際傍にいた相馬郡中村町平和貨物中村營業所トラック運轉手村田丸夫(三五)と山形縣東村山郡金井丸通營業所トラック運轉手岡崎信一郎(二六)の二人は逃げ損ねて全治十日間の重傷を負つた

乘りそくねて重傷

十一日午後五時ころ石城郡常磐5—7明治、淺貝=常磐炭鑛では今秋六大學リーグ三位の明治大學野球部を招き十二日午前十時から磐高、同日午後一時から湯本町淺貝球場でダヴルヘッターを行つた結果、磐高=

明大を迎え一勝一敗

常磐炭鑛では今秋六大學リーグ三位の明治大學野球部を招き十二日午前十時から磐高、同日午後一時から湯本町淺貝球場でダヴルヘッターを行つた結果、磐高=



川前撮影會にて
ポートレート (ミス・サクラ)
午後3時晴。プルモ・フレクスF3·5付
F5·6 100分1秒 サクラバンF・D76
染井FSD72 本社寫眞部 住谷撮影

小名浜通信

小名濱第二中學校の建築問題で其請負者との間に期日請負者は小名濱町出身で、信用の點に於て絶對的有望な地位に置かれる請負事業進する事を覺悟せねばならない

△

小名濱町に於ける宗教界の增加に對處して職安では一般民間事業えの特別求人開拓班を組織し、そのうと心配を初めるものがあるし緩和を期し去月一ケ月間噂するものゝ話に依ると大だけでも三千五百名にの都市の請負者は工事中にしぼる求人の開拓行に努力して事業を放棄するものが多をつして來たが、勞務者の中には正當な理由なしに民の請負も此點が氣づかわれればそれこそ杞憂と稱すべると云うのである、尤なるきものだ、無駄な心配でグの指導者たるには充分でなす心配であるが、それは小名ヅグヅして居る間に工事が濱町では見られない事實問遂に遲れて仕舞う事となるとして考えねばならないが能く過去に見る處である町民一般この點を吟味して一日も早く工事の進捗に邁斯にして遂に宗教界が寂寞を感ずるのは義理もない、宗こう云う時にキリスト教が小名濱町に再興したい と存じます

△

小名濱町に於ける宗教界の老衰の傾向があつて思想界の日本を再建せしめむとする爲めの該教こそ今日にあつては無くてはならない宗教をして尊ぶべきものである事が判然と浮び上つて來たのを想像出來る、この宗教をして小名濱町に再興する事は頽廢せる思想界の光明として三万町民は擧つて其創立に協力すべき事を

拾い読み
先般催された結核豫防週間に際し平保健所と市の衞生課が協力して平驛前に健康相談所を設けられた折り私も健康相談に參り深く感動させられた事がありますので貴重な紙面を割愛して頂きたいと存じます
當日街頭相談所の係員は男三名、女六名でありましたがその中に一際れ目立つて親切で言葉や態度にも申分のない女の係員があつた事を見逃し得なかつたのです私はツベルクリン反應檢査と間接寫眞の撮影を受けたのですが、私の次が二才位の幼兒を背負つた農家の主婦らしい婦人の方で、この婦人も私と同樣ツベルクリン反應と間接寫眞の撮影を受ける考えであつたのですが幼兒を背負つているため手間取れるのを遠慮して寫眞の方は思い止まろうとした處それを早くも見て取つた女係員の一人がお子さんは私が預つて上げますからご遠慮なくお寫しなさい」と申しその幼兒を背負つたまゝ次ぎ次ぎと來診者にツベルクリンの注射をして居たのです、これは係員として彼女達の當然の職務であると言つて片づければそれまでですが頽廢した世相としては容易に見出せ難い若い女性の亀鑑として推賞すべきであると感じまして他の係員にその女性の氏名を尋ねました處佐藤律子さんと申す保健婦さんだそうです(市內南白土久田生投書)

今晩は北西の風良い天氣ですが一時しぐれ模樣となりましょう、明日は北西の風秋晴れの良い天氣です、明後日は南東の風始めは良い天氣ですが下り坂に向いましょう、海上沖合はまだ風波がありますが次第にしづまりませう、尚高潮特報は今朝六時解除になりました

JOCP ローカル郡山 JOHQ

【十四日】後6時30分家庭と婦人 後7時30分歌の花籠(15)=日東紡富久山工場より中繼 渡邊敏子、坂井孝他、ビオニ樂團、司會小川アナ

14日より 17日まで
「赤い靴」大入滿員御禮の爲め今回は特に大人四拾圓
三船、志村が名監督黒澤と組んでの大作!
(映上建本(二)
野良犬
三船敏郎 志村喬
岡晴夫の唄う哀戀のヒット映畫
泣くな小鳩よ
平 文化

大衆食堂
サービス
味の点
量の点
三拍子そろつた
皆様の食堂
さかえ
平驛前東角

純生菓子
味自慢の
京かの子
栗まんじゅう
吹雪まん
じゆう
外各種
毎度有難うございます
平市聚樂館隣り
虎屋

祝 三五七
小供服大賣出し
七五三の御祝は洋服で
可愛らしいお坊ちやん。お嬢ちやんの樂しいお祝洋服。オーバー。帽子等いろいろ取揃えて特價奉仕中
平三 電203 やかた